

学習院さくらアカデミー

学習院さくらアカデミーは、年齢・性別・学歴に関係なく、誰もが必要に応じ、生涯にわたり教養を深め、専門知識や技術を修得する場の提供を目指しています。また、これから社会に出る学生の皆さんを支援するため、語学、実用・実務、資格取得講座を開設しています。

◆ キャリアアップ・スキルアッププログラム (語学、実用・実務、資格取得)

学習院さくらアカデミーでは、民間の語学学校や資格専門学校と提携し、学生支援のためのキャリアアップ・スキルアッププログラム(TOEIC® 対策講座、マナープロトコール検定対策講座、秘書検定講座、日商簿記講座、IELTS対策講座、MOS 対策講座 他多数)を開設しています。**就職活動や将来を見据え、自分自身の付加価値を高めたい**と考えている皆さんにとり、最適な学習環境を準備しています。

在学生向けの講座募集要項は、西5号館学生ホール、西2号館1Fおよび輔仁会館1F学生食堂付近の学習院さくらアカデミー講座情報スタンドに設置しています。

◆ 本学在学生割引制度 etc

資格・検定対策講座では、「一般」、「他大学在学生」、「本学在学生」の3段階の受講料を設け、「本学在学生」の経済的負担を大幅に軽減しています。また、資格試験に合格できなかった方への支援の一環として、「再チャレンジ制度」も設けております。詳しくは学習院さくらアカデミーまでお問合せください。

◆ 学習院さくらアカデミー 問合せ・連絡先

Tel 03-5992-1040 Fax 03-5992-1124

※ 受付時間：月曜日～土曜日 10:00～17:00
日曜日 10:00～14:00

(学校行事や祝日などで、土・日および一部平日が閉室となる場合があります)

ホームページ <http://g-sakura-academy.jp/>



学部・大学院に所属する附置研究施設

■ 経済経営研究所 (GEM)

経済経営研究所(以下GEM)は、社会に開かれた研究、情報発信、教育の諸機能を持つ研究所として1985年に設立された経済学部の附置機関です。研究機能の面では、国内外の研究者や研究機関、さらには産業界・官界との共同研究および研究交流の拠点として、研究プロジェクトやセミナー、国際カンファレンスの開催を積極的に行い、その研究成果を『経済経営研究所年報』などに公表しています。

研究プロジェクトで近年実施されているテーマは、COVID-19の感染拡大が生活・消費に与える影響、大学等発ベンチャーの設立・事業

化・成長のための組織・戦略要因に関する基礎研究、IT起業エコシステムの日欧比較制度分析、人材投資に関する計測について、非線形構造モデルの実用的モデリングなどがあります。

さらにGEMは、研修事業として経済学部の卒業生に再教育の機会を提供し、経済学部と卒業生のネットワークを強化する狙いから、「ビジネス・フォーラム」と呼ぶビジネス研修コースを実施しています。経済経営研究所ホームページ

<http://www.gakushuin.ac.jp/univ/eco/gem/>

■ 人文科学研究所

学習院大学人文科学研究所は、1976年より文学部の附置機関として活動してきた言語共同研究所がその役割を終えて閉所されたのを受けて、2001年に設立されました。開所以来、人文科学全般にわたる共同研究プロジェクトが多数生まれ、活発な活動を展開しています。所員である文学部専任教員がスタッフの中心ですが、人文科学研究科の博士後期課程修了者をはじめ若手の研究者、ま

た海外を含めた学外のすぐれた研究者を客員所員に迎えています。研究会、講演会・シンポジウム、博士論文の発表会なども活発に行われています。また研究成果は、学術雑誌『人文』、『人文科学研究所報』のほか、人文叢書の単行本としても出版されています。人文科学研究所ホームページ

<http://www.gakushuin.ac.jp/univ/let/rihum/>

■ 臨床心理相談室

学習院大学臨床心理相談室は2008年4月に大学院人文科学研究科心理学専攻臨床心理学コース(現在臨床心理学専攻)の大学院生の実習機関として開室されました。地域に開かれた相談機関として、さまざまな心理的問題を抱える成人、児童や青年とその保護者の相談活動を行なっています。臨床心理士資格を持った教員

および臨床心理士経験の長いカウンセラーの責任のもとで、大学院生が相談を担当しています。人間の心が本来持っている成長のエネルギーを回復することを基本理念としながら、心理療法や遊戯療法、箱庭療法、心理検査、保護者カウンセリング等の臨床実践を行なっています。

■ 生命分子科学研究所

生命分子科学研究所(通称生命研)は、物理学や化学の基礎の上に生命現象を追求することを目標として、1991年4月に発足し、タンパク質や核酸など生命分子の構造・機能・生成機構に関する研究、特にタンパク質の生合成機構、タンパク質分解酵素の構造と機能、伝達物質受容体など神経機能素子の作用機構などの研究を行ってきました。2008年4月に大学院自然科学研究科に生命科学専攻が、次いで2009年4月には理学部に生命科学科が創設され

ました。これに伴い生命研がカバーする研究領域は大きく拡大し、現在ATP合成酵素などを対象とした1分子生物物理学、ミトコンドリア機能、アルツハイマー症の原因解明、遺伝子損傷ストレスの耐性機構、ショウジョウバエを使った動物生理学、カイコの遺伝学、膜タンパク質の構造生物学、植物の成長・分化の生理学などの研究も行われています。